

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。(秘書広報課 ☎22-8112)

お酒を海にまく高栄くん



南北朝時代の「船遊び」

10月20日 御船遊管絃祭

「御船遊管絃祭」の「船遊び神事」が、金ケ崎近くの海上で行われました。この祭は、足利軍に包囲され金ケ崎城にこもった尊良親王と恒良親王を慰めようと、管絃の船を浮かべて紅葉と月を愛でた故事が由来となっています。神事では、金ケ崎緑地で「白拍子」が奉納されたほか、恒良親王のお供役の高栄碧月くんが船の上で神輿にお米や魚を捧げ、海に酒をまいて金崎宮の御祭神である両親王を慰めました。

慎重に巻き寿司を巻いていく参加者



各国の文化に触れてみて

10月30日 つるが国際交流まつり

市民と外国籍住民との交流を通じて、国際化のための理解を深めてもらう「つるが国際交流まつり」が開催されました。会場では浴衣の着付けや外国語でのフリートーク、ハロウィンイベントなどが行われたほか、各国の参加者が協力して作る約3メートルの巻き寿司作りなど、国際色豊かなブースで賑わいました。また、バンドや民謡おどりなどのステージも行われ、来場者が参加して日本文化を体験しました。

スタートダッシュを決める中学男子の部



3,999人が敦賀の街を疾走!

10月16日 敦賀マラソン大会

今年も神楽町1丁目商店街などを会場に第32回敦賀マラソン大会が開催されました。今大会は、昨今のジョギングブームの影響もあり、全国各地から過去最高となる3,999人のランナーが参加。絶好のマラソン日和の中、名勝負の松原や敦賀港など敦賀の自然や歴史を堪能できるコースで健脚を競いました。また、ゲストランナーにシドニー五輪陸上女子1万メートル日本代表の高橋千恵美選手が招かれ、日本トップレベルの走りを披露し大会を盛り上げました。

天筒山の古戦場を巡る参加者



信長の足跡をたどって

10月29日 歴史探訪ハイキング

金ケ崎の戦いで織田信長の足跡をたどる「歴史探訪ハイキング〜その時、信長は何を見た〜」が開催されました。敦賀駅をスタートし、氣比神宮～天筒山～金崎宮を巡りきらめきみなど館をゴールとするコースで県内外から74人が参加。絶好の秋晴れの中、参加者は氣比神宮や天筒山の古戦場、金崎宮などの信長が訪れたとされる名所をたどり、ハイキングを楽しみました。

平成23年度

市政功労者表彰

(順不同・敬称略)

伝統産業・市民活動功労



橋本 礼次
(川崎町)

昭和51年4月から現在に至る35年の長きに亘り、福井県昆布商工業協同組合の理事として、また平成10年4月から平成13年3月までは専務理事として、本市の伝統産業である昆布加工の発展、若手職人の育成に尽力されました。

また、NPO法人つるがみこしの会の初代会長として、行事への参加を通して、地域文化の継承及び市民活動の発展に多大な御貢献をいただきました。

自治功労



平川 幹夫
(刀根)

平成11年4月に敦賀市議会議員に当選以来、連続3期に亘り務められ、議長、議会運営委員会委員長の要職を歴任されました。

この間、議会の円滑な運営に尽力されるとともに、議会活動を通じて地方自治の振興と市政の発展に多大な御貢献をいただきました。

民生功労



奥田 秀雄
(坂下)

昭和58年12月に民生委員児童委員に就任以来、平成13年12月に第5(中郷・愛発)地区の会長として、更には、平成19年12月から平成22年11月までの間、敦賀市民生委員児童委員協議会連合会の会長として、地域住民の自立更生に尽力され、社会福祉の向上に多大な御貢献をいただきました。

問合せ 総務課 ☎22-8101

TOPIC

姉妹都市の水戸市と災害時相互応援協定を締結

10月10日に、水戸市長と水戸市議会議員の方々が市を訪れ、災害時相互応援に関する協定を締結しました。

この協定は、昭和40年から姉妹都市の盟約を結んでいる茨城県水戸市と敦賀市が、災害時における応急対策および復旧対策に万全を期すため、両市の区域内において、原子力災害を含めたあらゆる災害が発生した場合に、相互に応援を行うことについて定めています。

応援の内容は、生活必需品や資機材の提供、被災者の救出・医療、救援に必要な車両・職員の派遣などとなっています。また、ボランティアの募集・派遣、児童および生徒の受け入れや就学機会の提供など、原子力災害にも実効性のある内容が盛り込まれています。



握手を交わす河瀬市長と高橋水戸市長